

大気環境の改善はどれくらいの便益をもたらすか

：自動車排気ガス規制を用いた検証

姜 哲敏¹・太田 充²・牛島光一²

本研究は、2002 年及び 2003 年に 1 都 3 県で実施されたディーゼル車排気ガス規制の持つ実験的な特徴を利用し、浮遊粒子状物質(PM10)の改善による便益を測定する。具体的には、ヘドニック価格関数を用いて、排気ガス規制による PM10 の改善が地価をどれくらい上昇させたかを調べる。分析の結果、排気ガス規制の実施により、ディーゼル車の交通量の多い道路付近で PM10 が大きく改善され、それに伴い、地価も上昇したことが分かった。PM10 の 1ppm 減少するによる地価の上昇は約 2.4%であった。

¹ 筑波大学大学院システム情報工学研究科社会工学専攻

² 筑波大学システム情報系社会工学域